

大阪府中小企業青年中央会

第37回大阪大会 特別講演会を開催

大阪府中小企業青年中央会では、令和4年12月9日(金)マイドームおおさかにおいて第37回大阪大会 特別講演会を実施しました。元航空幕僚長 田母神俊雄氏と国際情勢ユーチューバー及川幸久氏を招聘し、「2023未来予測 日本・アジアそして世界」と題してご講演いただきました。

大阪府中小企業団体中央会柴田専務理事のあいさつに続き、まず田母神氏が講演されました。内容の一部を紹介しますと、我が国は戦後、あの焼け野原からわずか19年でオリンピックを開催した、これはすごい復興である。戦後30年でサラリーマンの給与は8.5倍になったが、バブル崩壊後、この30年間、給与は変わっていない。政府の役割は国民を幸せにすること、やりたいことができるという自由があること。そのためには政治的な自由と豊かな経済が必要だ。しかし今の政治はどちらもダメで、それは今の政治家は戦わない、反対意見をすぐにつぶしてしまうからだ。

続いて及川氏が最近の国際情勢について講演されました。内容の一部を紹介しますと、今から40年前、米ソ冷戦の時代の末期にグローバリズムが起り始めた。グローバリズムとは、国境のない一つの世界のことで、その形成は大企業が儲けることが動機となっている。1つの国の中だけでは企業は儲からない、したがって国境をなくして多国籍企業が儲けやすい世界を作る。グローバリズムを推進しているのは大企業とそこからお金ももらっているマスコミと政府だ。そこに入れず、こぼれてしまうのは中小企業、労働者、庶民といった弱者であり、今後はグローバリズム対反グローバリズムの対立の構図で世界が動いてゆく。

その後講演者2人と杉浦会長によるパネルディスカッションを行い、活発な質疑応答も行いました。講演には1000人近くの方がご参加いただき、大盛況のうちに終了しました。



当日は1000人近い参加者で会場は満席になりました(田母神氏の講演の様子)



パネルディスカッションの様子(司会の藤井氏、杉浦会長、田母神氏、及川氏)



杉浦会長のあいさつ



講演の後に記念撮影会を行いました